技術士　第二次試験　模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	H26　Ⅱ－1－1
答案使用枚数	1 枚目　　枚中

技術部門　　建設　　部門
選択科目　施工計画施工設備及び積算　科目
専門とする事項　施工計画及び積算

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1．軟弱地盤での動態観測の目的について

軟弱地盤上での造成時における動態観測は、調査段階での不確定要素を施工時に補うと共に、将来起こりうる沈下や側方流動等の地盤の変形を予測するために実施する。

2．動態観測の計測項目と利用方法

動態観測の計測項目を2つ挙げ利用方法を述べる。

1）沈下量の観測による安定管理

地表面型沈下計（変位板、沈下板）、層別沈下計により沈下量の観測を行い盛土の安定管理に利用する。沈下量の経時変化の傾向が安定状態であれば沈下が一定に収れんすることを示すが、盛土や基礎地盤の変状が激しくなると、沈下量は時間に比例し増加し、急激に増加する場合は破壊に至る。

2）盛土側方地盤の地表面変位観測による安定管理

盛土側方地盤の地表面変位杭の観測を行い、盛土の安定管理に利用する。基礎地盤が安定していれば地表変位杭の水平変位はほとんど見られないか、多少盛土側に引き込まれる変位を示す。基礎地盤の変状が激しくなれば、水平変位は急増し盛土外側に向かい、基礎地盤の破壊に至る。

以上

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字